

草津市教育委員会会議録

平成29年1月定例会

(1月24日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊正
	委員	谷川尚己
	委員	杉江由紀子
	委員	周防直美
	委員	檀原泉

議事参与	政策監	佐々木亨
	教育部長	明石芳夫
	教育部理事	中瀬悟嗣
	教育部副部長（総括）	居川哲雄
	教育部副部長（歴史文化担当）	八杉淳
	教育総務課長	太田一郎
	生涯学習課長	増田高志
	スポーツ保健課長	岸本久
	学校給食センター所長	宇野秀樹
	文化財保護課長	藤居朗
	図書館長	北相模政和
	学校教育課長	時岡善也
	学校政策推進課長	高井育夫

事務局	教育総務課参事	松浦正樹
-----	---------	------

開会 午後 3時30分

川那邊教育長 それでは、ただいまから草津市教育委員会1月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

川那邊教育長 日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので、1月定例会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長 次に、日程第2、「12月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので、12月定例会会議録は承認されたものと認めます。

—————日程第3—————

川那邊教育長 次に、日程第3、「教育長報告」に移ります。

今日は新年になって初めての教育委員会定例会です。今年も教育委員会として、草津市教育行政の推進・充実に力を発揮していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年度4月からを振り返ってみますと、さまざまな課題が山積する中、事務局の皆さんには、誠実で着実な取組を展開していただきました。新しい出来事では、老上西小学校の開校に始まり、放課後自習広場の開設、草津市・栗東市連携展示「KURITA BLUE」の開催、姉妹都市であります伊達市の梁川美術館での浮世絵展への協力、ICTを活用した自治体応援事業での成果発表、小学校でのオンラインによる英語学習、榊差遺跡等からの遺構の確認、

中学校給食実施方式についての答申など、新進気鋭な草津がアピールできたように感じます。第二期草津市教育振興基本計画の理念の実現に向けて着実な歩みが見られますこと、そして、市民の皆さんの期待に応える教育行政が展開できておりますことを嬉しく思います。

さて、今年の仕事始めの1月4日には事務局職員に、また5日には校長会で校長に、それぞれ教育長訓示を行いました。概要のみ申しますと、「変化が激しく、困難な課題が山積する今の時代を着実に歩むためには、知識や技能を身に付けることはもちろん、『考える』という行為が一層重要になってきます。そのための視点として『三つの目』を示しました。まずは『虫の目』で、足元を細かくじっくりと見る視点です。次は『鳥の目』で、大所高所から広い視野で物事全体を見る視点、そして最後は『魚の目』で、魚が潮の流れを感じるように、時代の動向や流行などをキャッチする視点です。

さらに、価値観が多様化する今日の時代に対応する目として、四つめの目を心がけることが大事だと述べました。それは『コウモリの目』で、コウモリが逆さまにぶらさがっている様子から、物事を反対から見て思考し、発想を膨らませるという視点です。正しいと思っけていても、逆さまから見ると間違っているかもしれないし、一つの考えを逆さまから見ると、さらに面白い発想に繋がるかもしれません。こういった視点で、市民や子どもたちによりよい教育や教育環境をどう提供するかを『考える』『考え続ける』ことを大切にしていきたい」というものでした。

加えて校長には、次年度の学校経営の重点を、教職員はもちろん保護者や地域のかたがたにも分かりやすく示せるよう準備をお願いしました。

次に1月9日。委員の皆様には、草津クレアホールで開催しました「草津市成人の日記念式典20歳のつどい」に御出席いただきありがとうございました。本年、草津市では1,534人（男性821人、女性713人）のかたが成人し、式典には993名が参加されました。参加率は64.7%で年々少しずつ向上しています。

また、草津市の成人式は実行委員形式で行うことが定着し、佐野一樹実行委員長を初め35名の委員の皆さんには、9月から5回にわたる委員会を通して、計画や準備等に取りかかっていたいただきました。今年も成人を祝うに相応しい企画・運営、そして当日の厳粛な祝典の様子を見て、草津の若者のパワーと発展し続ける草津市の未来を感じました。

17日には、「(仮称)草津市文化振興条例に規定すべき事項について」の答申を、草津市文化振興審議会会長、中川幾郎氏からいただきました。委員の皆さんには4回にわたり、豊かで活力にあふれる草津の創造に向けて、質の高い御議論をいただきました。今後、事務局において条例に向けて、案を作成し、

パブリックコメントを通して市民の皆さんからの御意見もいただく予定です。

次に、昨年12月21日、給食センターで、使用していた水道水から異物が発見されたことについてです。

まずは、二学期の給食終了日、献立どおりの給食を提供できなかったことを、児童や保護者の皆さんにお詫びいたします。申し訳ございませんでした。発見された異物は検査の結果、ウレタンフォームの成分で構成した固形物であることが分かり、対策として、受水槽の点検・清掃、施設内の水道管の洗管、水質検査等を行いました。結果、以後、水道水の異物や異常は発見されず、また、専門機関による51項目の水質検査では、厚生労働省が定める水質基準にすべて適合することを確認し、1月11日から予定通り3学期の給食を実施しました。

草津の給食は、手作り、減塩、アレルギー対応など、評価をいただいております。今後、信頼回復に全力で取り組みたいと思います。

最後に、「第10回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰」を本市教育委員会が受賞したことは報告しましたが、1月17日に東京で行われた表彰式で賞状をいただきました。

後でまた御披露させていただきます。

それでは、委員の皆様の方から1月にあった行事やその他教育全般に関する事項で、御感想などがございましたら簡潔にお願いしたいと思います。

杉江委員

教育長の話もありましたが、1月9日に20歳のつどいに参加させていただきました。私は今年で3回目ということになりますが、毎年ながら会場の入り口から本当に華やかで、そして歓声に包まれて若い人のエネルギーにあふれているというような様子でございました。今年度はDVDではなくて、壇上からの20歳を迎えた代表者のメッセージという運びだったのですけれども、決意を述べられた会場は凜とした雰囲気、皆さんが耳を傾けるという感じでございました。私は特に実行委員長の言葉の中に、これから先にはさまざまな壁があるけれども、これは限界の壁ではなくて新たな視野が広がる挑戦だといった言葉があって、幾つになってもそう思い続けたいなという思いで刺激をいただいた気がいたしました。

この委員会にも先月のときに出ていたのですが、先日、郷土料理の環境学習という記事が新聞に掲載されておりました、ちょうどこの日ぐらいだったと思いますが、NHKのテレビでも報道されておりました。ちょうど巡回展が今、市役所の1階の会場で展示されているのですが、渋川小学校の5年生の生徒たちが総合学習の時間でしょうか、梅干しとか鮎鮓とか日野菜とか山田ねずみ大根という郷土料理を入り口にして、栽培とか調理とか保存など伝統の食文

化に触れると、そして環境の今昔を学ぶという内容でございます。本当に今、四季を問わずに、場所を選ばずに、さまざまな食を得られるということはとても便利なことなのですけれども、手に入るものが子どもたちの目に見えないところで作られていたり、それから即、目の前に出てきたりする今だからこそ、こういった時間をかけて丁寧に作られる食ということに触れて、滋賀の食文化、そして琵琶湖の恵みというものを感じさせる事業というのは、大変すばらしいなと思って、下の方の展示も見せていただきました。

鮎鮠がおいしいと言って食している子どもたちの姿にちょっと驚いたのですけれども、やっぱり自分たちが作ったものに対する思いがあるからこそ、おいしいと言って食べているのだなという映像も見せていただき、感動とともに学んでいるのだなと思いました。

以上です。

川那邊教育長

ありがとうございます。

檀原委員

ありがとうございます。私も先ほど杉江委員と教育長がおっしゃっていただいた20歳のつどいの感想からお話しさせていただきたいと思います。

私も社会教育委員長のときに1回参加させていただいていましたので今回は2回目だったのですけれども、4年前、私の娘も実行委員をさせていただきまして、当時、恩師の中学校の先生のところまでビデオレターを取りに寄せていただくようなことがありまして、先生がたも訪問したときに非常に喜んでいただいたという話をしておりました。今回も私たちが退席した後に、恐らくそういうビデオが流されたんだと思うのですけれども、学校の先生がたが4年後、6年後になって子どもたちの姿をもう一度見られたときに、大変な感動をされるということも想像に難くないなという思いがありましたし、また子どもたちが委員のみんなが一人ずつ壇上で自分の思いを込めた中に、自分が今日の日まで育ててもらったことに対する感謝であったり、またお母さん一人に育ててもらったような話もありまして、子どもたち一人ひとりがこれからの一生を送る上で、本当に大事な1日を刻んだ日だったなということをつくづく思うことができました。

私自身も当時、まだ未熟な20歳だったことを思い出しながら、当時のネクタイピンを付けていって共有をさせていただくような思いもあったのですけれども、彼らが今後の人生のすばらしい一生をどうか過ごしてほしいなという思いを同時に共有させていただくような日になりました。

その後、1月14日の土曜日だったのですけれども、この隣のアミカホールで、御自身が発達障害で、また子どもさんや周りにも発達障害のかたがおられ

る笹森理絵さんという方の講演会がございまして、笹森さんは「(発達障害の)当事者」として、「(発達障害の子の)保護者」として、また「社会の中でもその人たちを支援する立場」としての話をされ、自分がこういう生活を送っていますということ、ビデオを通してとか、またスライドを通して発表されたところに参加させてもらいました。最近、発達障害についての理解が非常に進んできているということをつくづく感じましたし、「(発達障害のかたが)世の中で自分がそういう状況にある」ということに気づくことによって、「周りだけでなく本人も非常に気持ちが助かっていく」ということをおっしゃっていたことが非常に印象的でした。草津市においても発達障害の人たちに対する理解と支援が進んでいるということを感じることができましたので、学校においても取組が非常に進んでいるというふうにもお聞きしておりますので、これからもたくさんの人に(発達障害について)理解していただく機会が増えることを願っています。

それと、お正月はラグビーとか駅伝であったり、サッカーであったり、たくさんさんのスポーツの全国的な大会がいろんなところで行われているわけなのですが、草津市は健幸都市を目指しておるということで、今、杉江委員から食についてのお話がありましたが、生涯スポーツとしてみんながスポーツに取り組める状況がこれからも作られていくことを期待したいと思いますし。また今回、12月に「リトルパンサーズ」というアメリカンフットボールのチームが全国で優勝したり、また山田小学校の先生がたにお世話をいただいているラグビーのチームがこれも優勝したというニュースがあったり、また春にはミニバスの二つのチームが全国大会に出場するというニュースも先ほど御報告で聞いたのですが、生涯スポーツの中でも子どもときから行っているスポーツを非常に大事にしてほしいと思っています。また同時に、最近のスポーツの研究の中では、谷川先生が専門なのかもしれませんが、「一つの競技だけずっと続ける」だけではなくて、多様なスポーツをすることによって、「自分が本来取り組んできたスポーツ」にも役に立つということもありますので、草津市のスポーツがそういう形で多様な発展をしていくことも、これから取り組まれていくといいなという思いでいます。

最近、一番新しいニュースとして、文部科学省の昨日の会議の中で、「いじめについての定義」がニュースになっていたということがありましたので、これはまたいろいろこれからも議論をされてくると思うのですが、これからはいじめをなくすことについての取組や、その評価の仕方についても今後注目していきたいなという思いであることを私からの報告の最後に述べさせていただきます。

川那邊教育長

ありがとうございました。

周防委員

私も1月9日の20歳のつどいに出席させていただきました。昨年、初めて出席して実行委員会という存在を知って、とてもよい取組だと思っています。今年も同級生たちの頑張っている姿を見ているからか、落ち着いた式典でとてもよかったと思います。

それから、1月18日に学校の授業参観の前に教育講演会がありまして、保護者として参加しました。子どもの意欲を引き出すコツという親にとってはとても興味のあるテーマで、参加者の皆さん、熱心に聞いていました。宿題などに取りかかるまでというのが、うちもそうなのですが、みんな苦勞してしまっていて、お互いに話をしていると、それぞれいろいろ工夫しているのですが、長続きしていないというのが共通の悩みでした。教えるのではなくても、一緒に宿題をできるような環境があればいいのかなと思っています。

あと、1月19日に志津南小学校の英語のオンライン授業を見学させていただきました。クイズやインタビューをフィリピンの先生に子どもたちはしているのですが、一生懸命伝えようとしていて、趣味について話せたとかポケモンGOを知っていたとか、とても嬉しい感想を言っていました。授業の終了後に先生がたが、次はああしよう、こうしよう工夫を重ねようと言われていたので、これからのどんどんよくなっていけばいいと思います。セッティングなど準備が大変だとお聞きしたのですけれども、画面の向こう側にいる人に伝えるというのは、いつもより大きな声ではっきりと言う必要もあるし、それはとても練習になると思うので、何より子どもたちがクラス全員、楽しそうだったので、こういう経験ができるのはいいなと思いました。

今日の午前中に5年生の餅つきのお手伝いに行ってきたのですけれども、田植えとか稲刈りで世話になった地域のかたが今日の朝から御準備いただきまして、子どもたちもとてもいい経験を楽しませていただきまして、本当にありがたいと思っています。お母さんのボランティアもたくさん来られていたのですが、私たちもとても楽しくて、次もまた下の子のときにも来たいなと思ったのですけれども、こういうふう楽しく参加できるような環境が学校にあるのはいいなと思っています。

以上です。

川那邊教育長

ありがとうございます。

谷川委員

20歳のつどいも出してもらったのですが、私は同窓会をしてくれまして、

その子はその倍の40歳になっていまして、40歳というと、それぞれ社会で中心になっている子もたくさんいまして、またちょっと趣が違って40歳のつどいもおもしろいなと思いました。

それともう一つは、1月7、8日と湖南中学生サッカー交歓試合というのは、もう27回目になるのですけれども、草津市の教育委員会も後援いただきまして開催されました。45チームが参加をしまして、勝負を決するというんじゃなくて、交流と技術を高めようということでもう27回目になりました。今後ともまた中学校の先生が中心になって続けてくれるのだろうと思っています。

ちなみに、昔は柳沢敦とか今で言う鹿島にいる金崎夢生とかあの辺はこの大会に来て、ここでタイトルをとるのではなくて、将来、日本を背負って立つ選手が育ってくれないかなということで始まった大会なので、滋賀県も、草津からそういう子が出てくるともっといいのですが、28回、29回と今後も続けていきたいと思っていますので、草津の名物スポーツになればなと思っています。

以上です。

川那邊教育長

それでは、教育長報告については以上で終わらせていただきます。

松浦参事

先ほど教育長報告にごぞいましてキャリア教育の充実、発展でいただいた表彰状でございます。回覧させていただきますので、ごらんいただければと思います。よろしくお願ひします。

— 「第10回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰」を回覧 —

川那邊教育長

高井課長、もし何か感想等があれば。

学校政策推進課長

学校政策推進課の高井でございます。

草津市の教育委員会として選んでいただきました。全国で11の教育委員会が選ばれた中に草津市が入っております。滋賀県内では、水口高等学校と草津市教育委員会の二つが表彰されたということです。市内の全ての中学校で5日間、きちっと職業体験を組んでいることや、キャリア教育の一環として草津第二小学校は商店街で取組を進めていただいていること、それからスペシャル授業で多くの講師のかたに来ていただいて、それぞれキャリア教育をしていること等が認められたということで、大変すばらしいことだと感じております。

川那邊教育長

ありがとうございます。

———日程第4———

川那邊教育長

次に、日程第4、「報告事項」に入ります。事務局より報告願います。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の岸本でございます。報告書の2ページを御覧いただきたく存じます。「報告事項(1) インフルエンザの流行による幼・小・中学校(園)の臨時休業の状況について」ということで御報告を申し上げます。

資料2ページでございます。インフルエンザの流行による幼・小・中の臨時休業の状況ということで、上段にいわゆる学級閉鎖についての数字を掲載させていただいております。閉鎖された数は4、そして小学校が1、中学校が3ということで1月の数字をあげさせていただいております。

1月19日現在ということでございまして、それから本日まで1週間近くなるのですけれども、昨日までの間に閉鎖された学級数が4から13に増えてまして、幼稚園はゼロですが、小学校が1が2と、中学校が3が11ということで、それぞれ増加したところでございます。本日も中学校で1クラス新たに閉鎖されたという情報が入ってきております。

また、インフルエンザによる疾患による出席停止者というのですけれども、表の下の段でございます。こちらにつきましても、インフルエンザの罹患者数なのですけれども、1月は83人ということで記載しておりますが、先ほど申しましたように、この1週間で急増しまして、83人が170人ということで、内訳といたしまして、幼稚園の数は変わらずで9人でございますけれども、小学校の方が1月は47人から80人、また中学校は27人が81人ということで、それぞれ増加したところでございます。

毎年1月からということで非常に増えておりまして、1月12日から県内にインフルエンザの注意報が発令をされている状況でございます。臨時休業につきましては、判断基準をクラスの約20%の欠席を一応の目安ということでいたしております。それぞれの各学校の学校医等の指導を仰ぎながらしておるところでございますけれども、今年度につきましても県内において流行期に既に入っております。例年の例によりまして今後さらに増えていくことになっていくところでございます。

特に注意報が発令をされたということで、注意報発令時に各学校に注意を促すとともに、それぞれインフルエンザ等を広げないための注意事項として手洗いがいの励行であるとか、マスク着用、あるいは咳エチケット等を守ることであるとか、十分な栄養、休養をとるということ等につきまして、特に学校でも指導をいただいているというような状況でございます。

昨年の例によりますと、2月は最高期ということになってまいりますので、

注意深く見ながら、また各学校等におきましても注意を促しながらということで、広がらないための対策を行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

川那邊教育長

続けてください。

スポーツ保健課長

続きまして、「報告事項（２）平成28年度草津市小中学校における「新体力テスト」結果について御報告申し上げます。資料は3ページからでございます。

まず3ページでございますけれども、小学校5年生の市・県・全国の比較表ということで表を載せさせていただいております。それ以下、4ページ、5ページに小学校5年生の男子、6ページ、7ページに小学校5年生の女子ということで、小学校の結果について掲載させていただいているところでございますけれども、今年度の結果といたしまして、小学校につきましては5年生男女ともに昨年度よりも合計点の平均点が上昇いたしました。特に男子につきましては、全国平均点を上回る結果ということになったところでございますし、また女子につきましても、県の平均点を上回った結果でございました。

内容といたしまして、8種目のうち、長座体前屈であるとか立ち幅跳び等については全国、県に比べて比較的高い数値を維持したところでもございます。また一方で、特に反復横跳びとか、あるいはソフトボール投げという種目につきましては、男女ともに全国・県よりも低い数値という結果になったところがございます。

全国平均を上回るという目標値を掲げております中で、男子はまず上回ったと思っておりますが、その分析といたしましては特に長座体前屈であるとか立ち幅跳びというものにつきましては、これまでに小学校において体力テストの種目を伸ばすための取組ということで、種目別にそれぞれ取組を進めてきたところでございまして、そちらの成果が出たのかなという分析をいたしております。

また一方で、児童への質問ということでQ&Aがあったわけですが、運動習慣等の調査ということの中で、運動やスポーツをすることが好きですかという質問であるとか、あるいは体力に自信がありますか、また運動が好きですか、自信があるという回答の割合につきましては、今年度、男子では昨年度よりも上昇をして、全国・県と比べて差異のないような数値まで上がったと。女子については昨年度より少し下がりはいいたしましたけれども、全体的にはスポーツ好きの子どもたちが今回増えたということで思っております。

また、授業内容についての調査につきまして、体育授業自体が楽しいか、また体育授業自体が子どもたちに目標を提示しているか、また体育が終わった後に振り返り活動を授業でされていますかという質問であったり、また友達と助け合ったり役割を果たすということ、チームで話し合いながら活動を行うという授業内容についての質問があったわけなのですけれども、いずれも草津市の子どもたちについては全て上昇いたしております、授業内容の改善がかなりされたような成果が出たのかなということも、結果として受けとめているところでございます。

また特記事項といたしまして、体育授業等でできなかったことができるようになったきっかけという欄があるのですけれども、授業中に自分の動きを撮影したビデオを見たという項目がありまして、全国が5%、それに対して草津市につきましては、ICTも推進していることもございまして、10%を超えるような回答があったということで、そういうことの積み重ねも上昇したような一つの要因ではないかなと思っております。

次に中学校でございまして、8ページからでございます。8ページに市・県、全国の比較表、そして9、10ページに中学校2年生の男子、そして11ページ、12ページに中学校2年生の女子ということで、それぞれ結果を掲載させていただいたところでございます。

今回、結果につきましては、男女ともに昨年度よりも数値も上昇いたしました。また、中学校につきましては、県よりも国よりもということで全体を合計点で見ますと全て県平均、全国平均を上回ったという結果でございました。特に男子につきましては、長座であるとか立ち幅跳び、女子については上体起こし、立ち幅跳びといった種目におきまして、特にかなり高い数値の結果となったところでございます。

ただ、中学校につきましては2014年度から比較いたしまして、男女の平均点の伸びという意味につきましては、ある一定の数値を刻んでいるような状況でございまして、上昇のところまでは行っていません。

一方では、全国的な平均値の伸びを見てみますと、特に女子なんかは女子の全国、県の平均とは著しく伸びているようなところでもございまして、私どもはこれまで小学校を特に重点的に取組を進めてまいりましたが、今後、中学校におきましても中体連であるとか、あるいは体力向上のプロジェクトにおいても検討材料となると考えております。

そのほか、小学校と同様に運動やスポーツをすることが好きかであるとか、自信があるか、運動について大切と思っているかとか、卒業後も運動がしたいかという質問が中学生に対しましてあったのですけれども、そちらの結果については、中学校はちょっと下降気味であるという結果も出ておりまして、体力

的には部活動等、特に全国と比べましても運動部活動の所属する割合といたしまして、県・市ともに高い数値を維持しておりまして、そちらの方で今回の全国・県よりも上回っているという状況にはなっている一方で、体育授業自体についての魅力であるとか、楽しく過ごしてもらうようなことも今後検討していく必要があるのかなという分析をいたしておるところでございます。

概略につきましては以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

教育総務課長

続きまして、報告書13ページをお願いいたします。「報告事項(3) 寄付受け入れ報告について」、教育総務課の太田より御報告申し上げます。今回の寄付につきましては1件でございます。

株式会社トオツカ種苗園芸の代表取締役遠塚政弘様より市内の各中学校、そして図書館に書籍をいただいております。

以上でございます。

川那邊教育長

それでは、ただいまの報告事項につきまして御質問等ございませんか。

檀原委員

一番最初に御報告いただきましたインフルエンザの件です。今年度、流行している型というのがもし分かりましたら。

スポーツ保健課長

香港A型と新型と呼ばれるものが今はやっているということで報告を受けております。

檀原委員

香港A型というのは割と重症になりやすいタイプですよ。でもないんですか。

スポーツ保健課長

毎年、香港A型は言われておりますが、どちらかというとな型の方について先ほども担当と話をしておったのですけれども、いつも小学校からインフルエンザについては流行していくのですが、中学校が先行している部分があって、ちょっとこれははっきりと言い切れない部分があるのですけれども、新型が出たときに予防接種を高齢者、そして幼児という順番でやっていったときに、ちょうどできてない時期の子が中学校にかかっているということで、そういう話が今されているという状況でございます。

檀原委員

ありがとうございます。

谷川委員

鳥インフルエンザが新聞で報道されたのですが、あれ、ちょっと状況を教え

てもらえますか。

スポーツ保健課長

新聞等で環境省と滋賀県という発表がされまして、草津市内の琵琶湖から5キロぐらい離れた民家のところで見つかったということで、報道の発表があつて、草津市内のどこであるとかという部分については私ども聞かされていないような状況ではございます。

ただ、県と環境省が今の警戒の重点地域ということで、草津市もそうですけれども、その場所から10キロ以内ということで、湖南市、大津市に至るまでを注意深く観察をしているという現在は状況です。

報道等がされまして、私どもの対応といたしましては、逐次学校にはその内容については周知をするとともに、鳥が死んでいたら勝手にさわったりしないであるとか、そういう最低限の注意事項等についても周知を図ったというような状況でございます。

川那邊教育長

よろしいですか。

谷川委員

もう一点。

川那邊教育長

はい、どうぞ。

谷川委員

体力テストの件ですけれどね。スケールをゼロからすると余り差がないというのは毎年言っていることですがけれども、そういう見方をしないと、順位を見てもほぼ変わらないと私は見ているのです。

それよりも、例えばこの2016年の中2は2013の小5ですよ。だから、小5のときのデータと、この2016年の中2のデータを見て、どういう移動をしているかという分析をする方がいいんじゃないかなと。これが起こっていたら、ここがもう少し課題じゃないかとか、そういう見方をするといいのかなと思うんですね。

もう一つは、標準偏差は出せると思うので、ばらつきが減っているのか増えているのかというのは、二極化と言われているので、そこに結びつく分析ができるのかなと思うんですね。だから、例年1年1年の横断的なんじゃなくて、ちょっと追跡してそういう分析も入れてくれると、小学校でどういう取組をすると中学校につながっていくのかということが出てくるのかなと思いますので、そんな分析をしてもらえるとありがたいなと思います。

スポーツ保健課長

ありがとうございます。そういうことが必要だということで、今年から小学

校も8種目あるのですけれども、低学年にできていない種目についても今年度から1年生を始める中で、一応スポーツ推進計画では5年後、平成32年の小学校5年生というのを見ているのですが、今、谷川委員がおっしゃいました数値の伸びが見えていけるようにしていこうとしているところでございますので、よろしくお願い申し上げます。

檀原委員

先ほどお話しいただいた中のスポーツテストですが、小学生の子どもたちが「スポーツが好きなる傾向」が少しよくなっているということで、自分の運動の姿をビデオで見て、それがスポーツへの関心にもつながっているという話もありましたので、ぜひ中学校でもいろんな形で、部活動でもそうだと思いますが、いいことは取り入れていただけることも考えていただくといいと思います。このようなことを先生がたや部活の指導者のかたにも知ってもらってだけでもいい効果が出てくるかなと思います。

それと、やはり少し気になったのは、中学校が逆に「スポーツが好きだ」とか「卒業後、スポーツをしたい」という気持ちが減っているということに関しては、これは別に今回のテストだけの問題だけではなくて、これからずっと一生にかけて運動にかかわるか、かかわらないかみたいなのところにもつながってくるでしょうし、できれば中学校のときにスポーツ嫌いにならないようにできる配慮をいただけるような授業づくりをしていただけるといいだろうなと思います。

数値で出るものはどうしても気になりますし、先生がたの中では少しでもよくしたいという思いもあるでしょう。それも大事なことだと思いますけれども、長い目で見て「みんなが生涯運動できること」が大事だと思います。

もう一つは、競技スポーツというと、激しい運動にもなると怪我とか故障ということがあって、特に高齢の方なんかになりますと、運動し過ぎてかえって足を痛めたり膝が痛くなったという話もよく聞くのですけれども、怪我と故障の予防ということが一生かけて身に付くような配慮が、教育的なスポーツの中でも取り入れられれば、健幸都市を目指すという本市にとって非常にいいのではないかと思います。既にそういうことはされていると思いますが、一層そういうことが配慮されるといいなと感じさせていただいたということでございます。

川那邊教育長

ほかによろしいですか。

杉江委員

一つだけ教えていただきたいのですが、この「20mシャトルラン」は新体力テストと載っているのですが、旧体力テストした年代の者は何なんだろうなと思

いながら。

スポーツ保健課長

20メートルの距離を往復していくのですが、スタートして1回目を走るとの速さで音楽が鳴りまして、1回目のときに例えば20秒でその間帰って来たらしいということだと、その後、1回ずつ回数を重ねるごとに、2回目には20秒が19秒になり、3回目には18秒になるということで、時間がだんだん減っていく、短い時間帯でその距離を走らないといけないようなタイムトライアルみたいなものがあるんですよ。それを何回行けるか。

杉江委員

また後で教えてください。したことがないので。

スポーツ保健課長

見ていただいたらもう一目瞭然だと思います。

杉江委員

それは敏捷性みたいなものを測るのですか。

スポーツ保健課長

持久力ですね。

杉江委員

持久走ね。

川那邊教育長

初めはゆっくりリズムがあるのですね。それに合わせてその区間に行くのですけれども、だんだん早くなってしんどいから着けないようになるんやね。

スポーツ保健課長

はい。

杉江委員

中学生には持久走なる1,000メートルと1,500メートルがあるけれども、小学生にはないので。でもないですか。

スポーツ保健課長

中学生も同じようにシャトルランもあったと思います。

谷川委員

僕ら60の年代は、昔は踏み台昇降というのをやっていたと。

杉江委員

なるほど。そういうイメージですか。分かりやすい。

川那邊教育長

また後でゆっくり見てみてください。

杉江委員

ありがとうございました。

川那邊教育長

では、これでよろしいでしょうか。

以上をもちまして本日の議事は終了といたします。ほかにございませんか。

それでは、これをもちまして1月定例会を終わらせていただきます。次回は2月17日金曜日の午前10時から定例会を開催する予定ですので、よろしくお願いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 4時15分